

事業の背景・目的

「柳川生き物の里」は、荒れ始めている休耕田を湧水地の復元、竹林の伐採、草刈等を行い「里地里山保全再生モデル事業地域」として生物多様性が図られている水辺として再生し草刈等の管理を行っています。近隣小学校・田舎暮らし体験者の環境教育の場として重要な場所となっています。しかし、歳入は秦野市からの謝礼金のみとなり財源確保難しい状態です。そのため、既存の事業と連携したエコツアー参加費を徴収し財源確保を図ります。ツアー実施のための木道整備を行い、参加者の生物観察を容易にするものです。

事業の内容

事業① 柳川生き物の里木道等設置事業

- ・木道整備に向け、豪雨等により崩れたり埋めっている箇所がある水路整備を行った。
- ・地域の土木業者の協力をいただき、木道整備を実施した。

【水路補修作業】



【木道設置作業】



事業② 柳川生き物の里エコツアー事業

- ・「いなか暮らしふる里塾」等と連携したエコツアーの計画
- ・池や水辺等の生物観察を行い「柳川生き物の里」の生物多様性の簡単な説明を盛り込む等を企画し、エコツアー実施の実現を図る

事業③ 柳川生き物の里外来生物駆除事業

- ・木道整備後、繁殖しているアメリカザリガニ等の外来種の駆除を継続的に行う

得られた成果

- ア 木道の整備は完了した 110m（既存木道から池の水辺地まで延伸）
- イ いなか暮らしふるさと塾は秦野市が実施した。木道整備が完了したので次年度に木道を活用したエコツアーを実施する。また、市が実施しているエコスクールは、「身近な生き物を知ろう」をテーマに柳川生き物の里で実施したので、場所を提供した（エコスクールの内容もエコツアーの参考にする）。
- ウ 水路整備の際に、アメリカザリガニの駆除を行った。

【田舎暮らしふるさと塾での生物観察の様子】



【エコスクールの様子】

